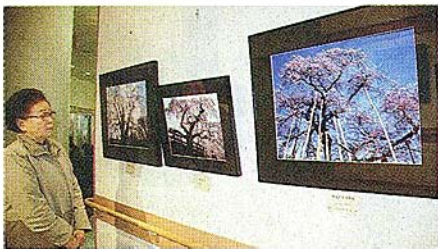


2010年(平成22年)3月21日(日曜日)

巨木桜の魅力写す

豊橋で
写真展
竹腰さん(川)
が16本

中日写真協会豊川支部委員で、巨木桜を愛する会長の竹腰治己さん(六九)＝豊川市御油



町による巨木桜写真展が豊橋市大山町の豊橋ハートセンターで開かれていた。三十一日まで＝写真。

竹腰さんは約十年前、岐阜県本巣市の樹齢千五百年の淡墨桜を撮影したのを機に、全国に約五百本ある巨木桜を撮り続けている。

写真展では、撮影済みの四百本のうち、東日本に残る十六本を展示。枝を空いっぱい

伸ばす山形県長井市の「伊佐沢の久保桜」

(樹齢千二百年)や、菜の花畑に咲く福島県郡山市の「上石の不動桜」(同三百五十年)など、時代を超えて生き続ける姿が並ぶ。

竹腰さんは、二十六日午後一時半から「巨木桜は環境保全のバロメーター」と題して、同センターで講演する。「十月の生物多様性条約第十回締約国会議(COP10)に向けて環境保全を訴えていきたい」と話している。(世古紘子)